

# 2015年度 森林統計学 第1回

担当: 森林科学コース  
鈴木保志

# はじめに

- 統計学は役に立つ
  - 卒論、特にフィールドのデータ分析では必須

## 研究での例)

渡辺ら(2014)施業方法の違いによる人工林における土砂流出量の変化. (<http://ci.nii.ac.jp/naid/110009843913>)

鈴木ら(2014)小規模分散型木質バイオマス燃料としての薪の生産供給システムと経費の検討.  
(<http://ci.nii.ac.jp/naid/110009843914>)

# はじめに

- 統計学は役に立つ
  - 卒論、特にフィールドのデータ分析では必須
- 勉学・学問は本来おもしろい・楽しいもの
  - ただし努力は必要
  - 買い物とは違う
    - 買い物は同じものを買うなら安い(努力しない)方が得
    - 勉強はスポーツの練習と同じ。頭を使わないと身に付かない
- 授業時間を有効に使うために予習・復習を
  - 教科書を隅々まで使う

# 講義の進め方・注意事項

- 講義予定(配布資料)
- 教科書
- 予習と復習
- 課題評価
- 試験
- オフィスアワー

# 教科書



- 全14章
- 1～8章、12章の一部
  - 「森林統計学」
  - 3章 “確率”は高校数学
- 9～13章
  - 「森林応用統計学」
  - 隔年集中(今年度開講)

# 成績の評価

- 課題50点、試験50点
  - 出席点は考慮しない
    - 出席は当たり前; 単に講義に出ることが目的ではない
    - 本当に自分のためになることは何かを考えよう
    - 出席状況は把握している
- 課題(10点 × 5課題)
  - 課題資料はWeb資料として載せる
    - Web資料のURL (<http://www.cc.kochi-u.ac.jp/~ysuzuki/kougi.htm#STATISTICS>)
      - ※ シラバスに明記; 「鈴木保志」で検索して出てくる鈴木のWebページからもたどることができる(お知らせ→講義関係)
  - 課題は翌週に提出する
    - 採点后、コメントを付して提出の翌週に返却する
    - 点が悪かったら、再提出で理解度を高める(7点以上はOK)

# 成績の評価

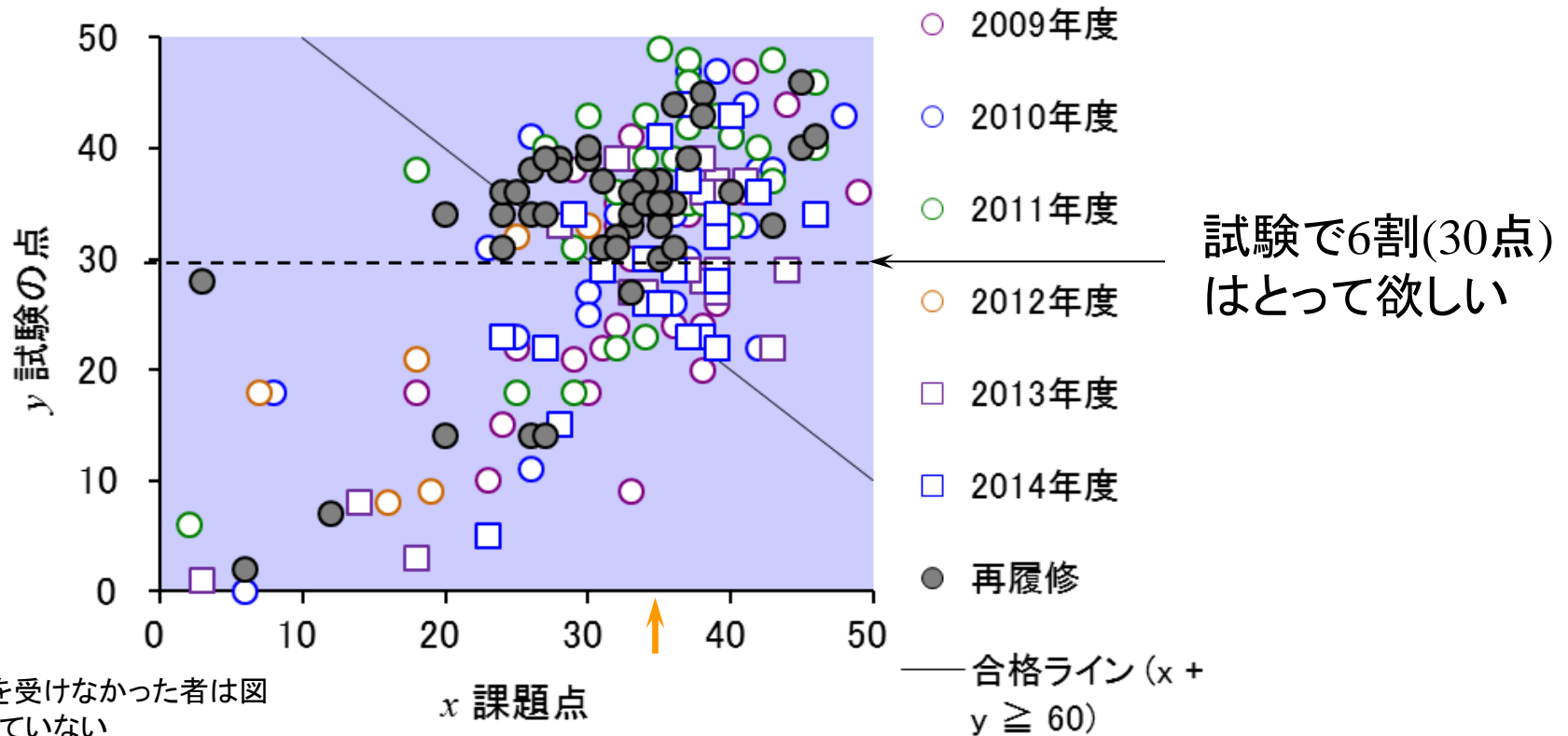
- 再履修者の課題点

- 旧年度の課題点は1年分は残している

- 再履修者: 前年の課題点は有効,今年提出分は追加点として評価する
- 再々履修者: 旧年の課題点は無効,すべてやり直しが必要

- 課題の回数とおおまかな内容は前年と変わらないが、詳細は毎年改訂している。再提出する時には今年の課題の指示を参照すること。

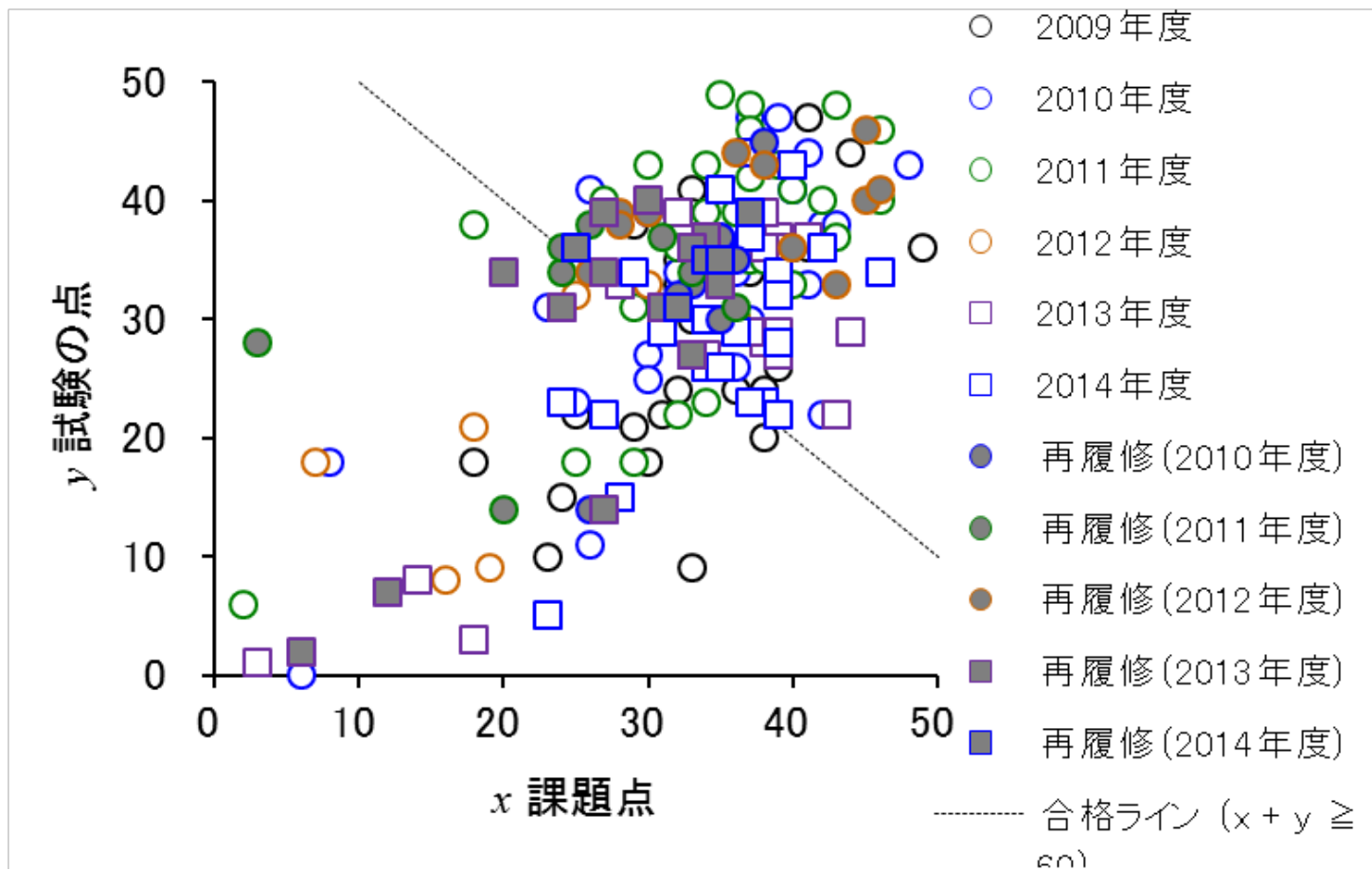
# 過去年度の成績



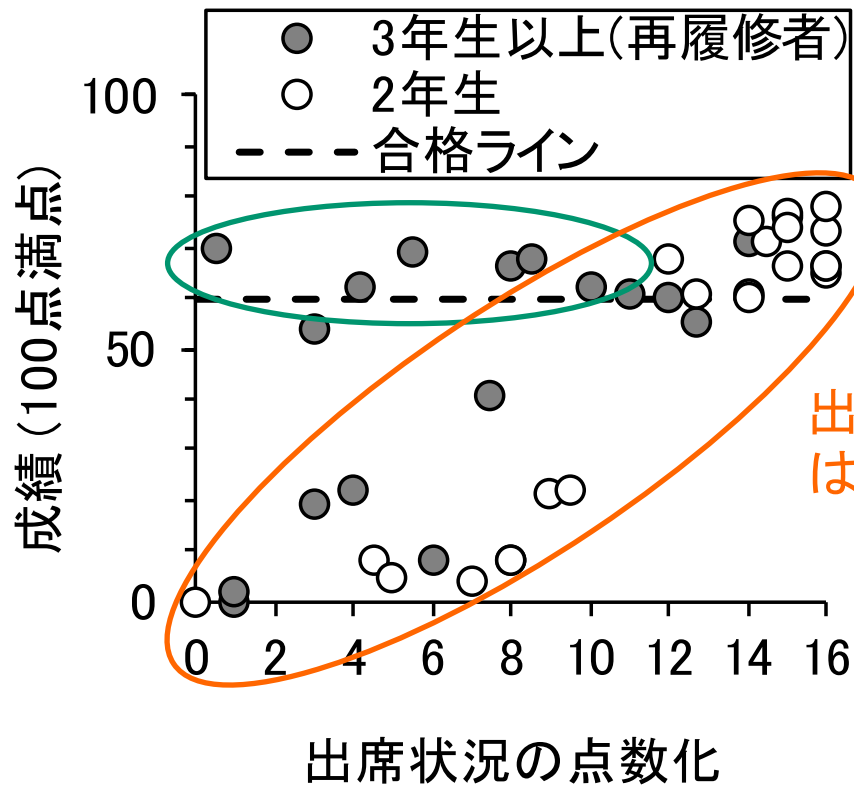
注) 試験を受けなかった者は図に表れていない

- 過去年度実績から
  - 課題点35点程度以上 でおおむね試験も30点程度以上できている
- 課題点と試験はほぼ比例している
  - まずは課題をしっかりとやることが重要





出席が少ないが合格しているのは、  
過去年度履修の蓄積のため（課題点・理解度）



注)遅刻なし1点、遅刻ありは程度により0.5~0.2点とした

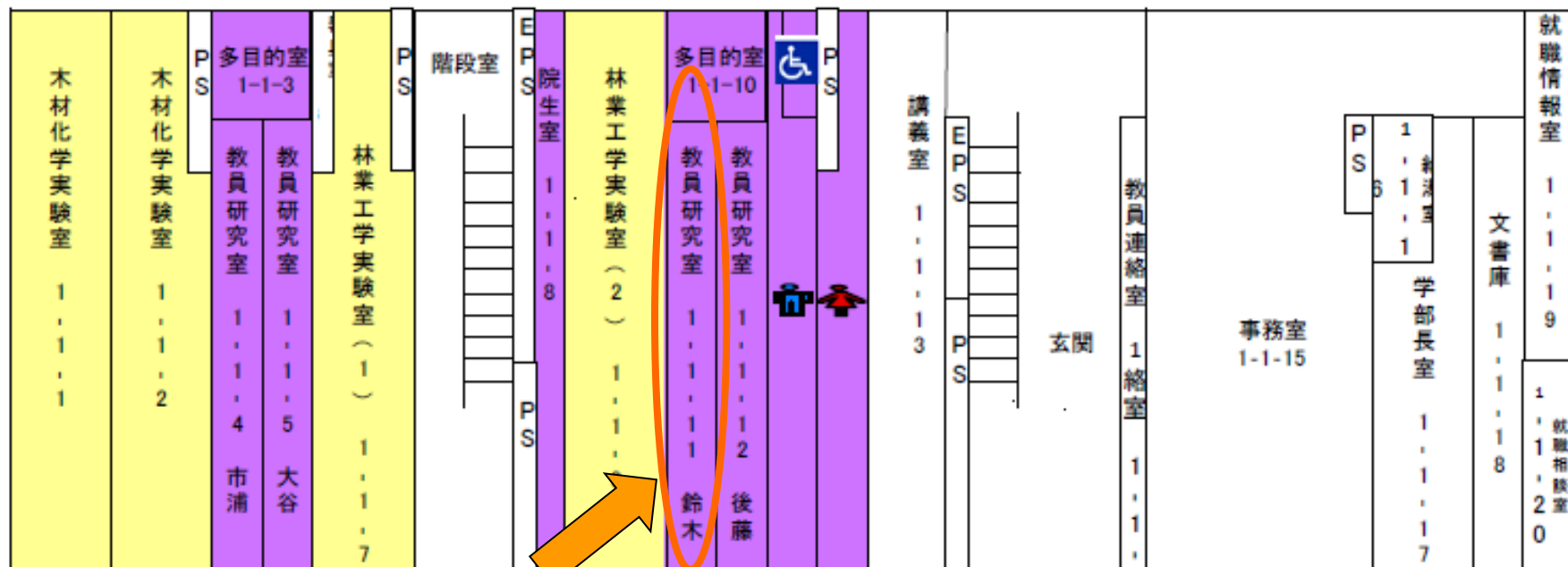
2013.08.20: 成績と出席状況との関係

# 勉強の心構え

- 予習と復習を
  - 予習: 教科書の下読み、例題
  - 復習は教科書の練習問題と課題で
    - 例年、練習問題をこなした人は成績もよい
- 課題は「なぜ」を常に意識して
  - 資料作成の「作業」ではない
  - なぜ、を理解するための「勉強」が目的
  - わからなければ質問を
    - わからないまま提出せず、提出前に質問しよう

# オフィスアワーを利用して質問を

## 1号棟1階



1F

- 質問、相談など
  - 過去年度実績でもオフィスアワーを利用した者の理解度は高い
- 火曜日の昼休み(12:00-13:00), 5限相当時間の前半(16:30-17:15)
- 指定時間以外はメールなどで事前に問い合わせてもらえると確実
  - [ysuzuki@kochi-u.ac.jp](mailto:ysuzuki@kochi-u.ac.jp)